

## 5教科に140人「来年もぜひ…」

### 文学部 高校教員対象に研修プログラム開催

今年、創立40周年を迎えた文学部(荒木敏夫学部長)では、**専修大学創立130周年記念事業**の一環として、「2006年度高校教員対象研修プログラム」を初めて開催した。

7月29日(英語)、31日(地理)、8月1日(世界史)、2日(日本史・倫理)の教科に約140人の参加があり、「バラエティーに富んだ内容で今後の授業に活用したい」「来年度もぜひ実施を」といった感想が聞かれた(⇒[文学部紹介記事はこちら](#))。

10月15日(日)には40周年記念公開講座

同学部では、10月15日(日)に創立40周年記念公開講座「伝統と創造—藝能の世界—」を生田キャンパスで開催する。小説家でもある小林恭二教授の「曾根崎心中 心中の誕生」のほか、青木美智男教授(日本近世文化史)、末廣幹教授(イギリス近代演劇)の講演と、江戸系あやつり人形「結城座」十二代目・結城孫三郎さんの実演と解説が行われる。演目は「寿獅子」ほか。定員200人。

お問い合わせ 電話  
044(911)1254 教務課文学部公開講座係



▲Work Shop「英語の歌の活かし方」(並木信明教授)



▲世界史「アメリカ史における『黒人』」(樋口映美教授)



▲世界史の参加者は近江吉明教授の引率でフランス革命史料「ベルンシュタイン文庫」を見学



▲地理「リモートセンシング入門」(高岡貞夫助教授)



▲荒木敏夫学部長が歴史の教員を紹介



▲日本史の特別プログラム「日本民家園を歩く」(青木美智男・新井勝紘両教授)



▲倫理はゼミナール形式で「原典でベンサムを読む」(船木亨教授)

## 民家園通り商店会

## 夏まつりに協力

7月15日、川崎市多摩区の「民家園通り商店会夏まつり」に今年も本学が参加、専大グッズの福引で地元の人々と交流した。吹奏楽研究会＝写真＝がオープニングパレードに協力したほか、三曲研究会とダンスチームミサキが日ごろの練習の成果を披露した。



## 高大連携協定校

### 一日体験入学

高大連携協定校2校が生田キャンパスで「一日体験入学」を行った。

7月10日に訪れた神奈川県立ひばりが丘高校・国際教養コースの51人は、経済学部の模擬授業の後、3人の留学生から各国の事情を聞く国際交流プログラムに臨み、異文化理解を深めた。コーディネーターは、長期交換留学経験者の大西英朗さん(法4)と中野愛さん(文4)が担当した。同19日には都立成瀬高校から28人が訪れ、馬場杉夫経営学部教授の「経営学はどこで使われている？」をテーマとした模擬授業などを聴講、大学での学びの一端に触れた。



▲国際交流プログラムに参加したひばりが丘高生



▲馬場杉夫教授の模擬授業(都立成瀬高)

## 米国短期留学生 ノブヨシ・ヤマナカさん 柔道部に溶け込んで

2006年夏期日本語・日本事情プログラム(6月23日～8月11日)を受講したジャロッド・ノブヨシ・ヤマナカさんは、日本語学習の後、ほぼ連日柔道部のけいこに参加、部員たちと汗を流した。

ノブヨシさんは米国生まれの日系三世。協定校のイリノイ大学アーバナ・シャンペイン校4年で生物学を専攻、医師を目指している。

「キャンパスには日本からの留学生が大勢学んでいる。彼らと日本語でコミュニケーションをとりたい」と同プログラムに参加。初級J1コースで7週間、みっちり日本語を学んだ。

「師範である父の指導で7歳から始めた」という柔道は初段。得意は寝技、立ち技で「本場の日本にいる絶好の機会に、組み方や技を磨きたい」と柔道部の門をたたいた。

「部員の皆さんはとてもフレンドリー。道場が大好きになりました」。プログラムの集大成であるプレゼンテーションでは、柔道の練習方法の日米の違いについて発表した。

見守ってきた高橋歩同部監督はノブヨシさんを「けいこ熱心で部員たちにすぐ溶け込みました。手足が長いので、部員にとっても経験したことのない良き対戦相手になったのでは」と話している。



▲けいこ中のノブヨシ・ヤマナカさん

《緑地帯》

## 夏休みの宿題

「夏休み」楽しんでる？ 待ちに待った夏休みだもの、思っきり楽しまなくっちゃね。海へ行こうか、山へ行こうか、海外旅行もいいなあ。

えっ、何、遊んでる場合じゃないって。山のような宿題が出ていて、とても遊んでいる暇はないって、いったいどんな宿題が出たんだい？ 漢字ドリル？ 計算ドリル？ そんなのできる分だけやればいいんだよ。できないのはいくら考えたって無理だって。

えっ、毎日コツコツやらなきゃいけないって？ それって絵日記か何かかなあ。それだって、後でまとめて書けるよ、きっと。天気は気象庁のサイトで調べられるし。

えっ、そんな簡単なことじゃないって？ 自由研究が何かしなくちゃいけないの？ それだって、きっとネットにいろいろ載っているよ。ほら、「夏休みの宿題」ってサイトがあるよ。この「\*\*家のお盆」なんていいアイデアじゃない。まねしちゃえば？

えっ、まねしちゃいけない？ テーマが決まってるの？ 小学生の自由研究じゃなかったんだ。中学生？ 高校生？ へえ、大学に行ってるんだ。じゃあ、ゼミの卒業研究か何か？ でも、ゼミの先生に相談すれば、いろいろ教えてくれるんじゃない？ 後期が終わるまで、まだ時間もあるし。

えっ、教えてくれる人なんかいない？ 9月初め締め切りなの？ 大学へ行っているって、学生じゃなくて先生か。夏休みの宿題で大変だなんて言って、サボって仕事をためてただけじゃないの？ それじゃ自業自得だね。

(学生部)